

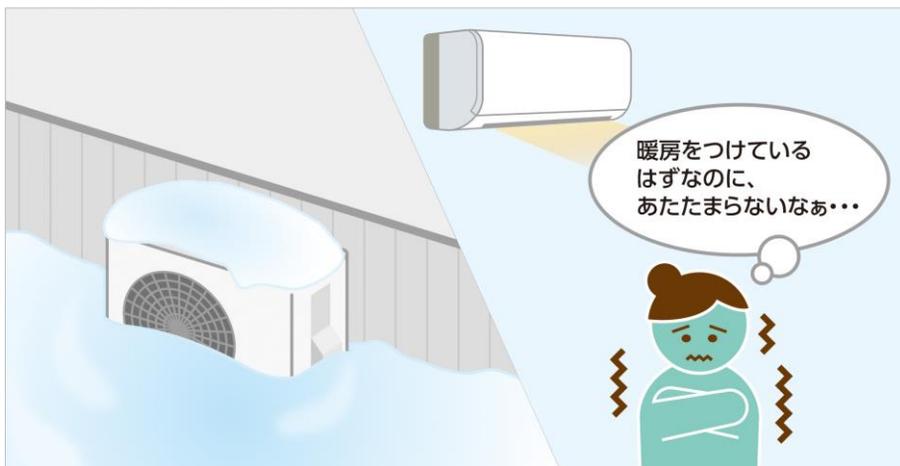
【霧ヶ峰 Times】～霧ヶ峰は、快適な室内環境づくりの情報をお届けします～

今冬は例年以上の降雪量となる可能性も？ エアコンの雪対策を実施しようと思っていない人は73.0% ポイントは室外機！大雪の日もエアコン暖房を安定稼働させるには？

三菱電機 霧ヶ峰PR事務局は、降雪時にも室内であたたかく快適に過ごせるように、エアコン暖房の「降雪前にできる対策」と「降雪時の対策」を紹介します。当事務局が、沖縄県を除く46都道府県の30～50代の男女600名に行った調査によると、降雪時に「エアコン暖房の効きが悪くなった」などのトラブルに見舞われたことがある人は全体で18.5%となり、地域ごとに分けると寒冷地※1では20.0%、その他の地域では17.0%となりました。気象庁によると、今年の降雪量は北・東・西日本の日本海側で平年並みか多い見込みです※2。そのため、降雪前/降雪時の対策を確認し、突然の大雪に備えておくことをおすすめします。

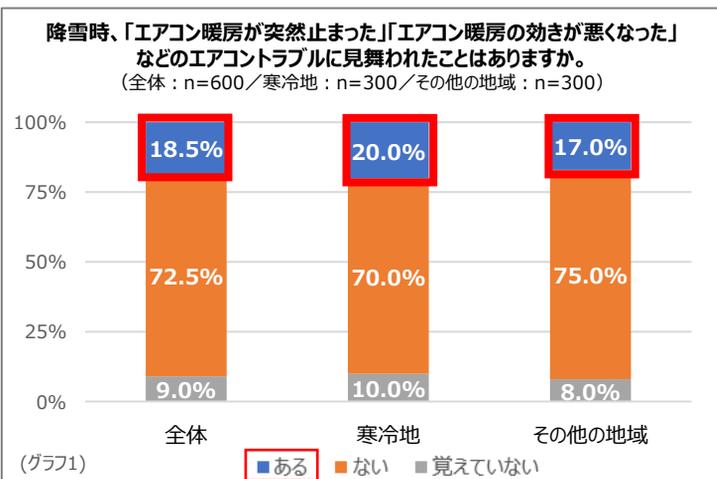
※1 本リリースにおける寒冷地：北海道、青森県、岩手県、秋田県、山形県、宮城県、福島県、新潟県、長野県、山梨県、富山県、石川県、福井県のことを指します

※2 気象庁 寒候期予報の解説 <https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/?region=010000&term=P6M>



1 エアコン暖房の雪対策を実施しようと思っていない人は73.0%。一方で降雪時のエアコントラブルには「エアコン暖房の効きが悪くなった」「急に暖房運転が止まってしまった」という声も

調査によると、降雪時にエアコントラブルに見舞われたことがあると回答した人は、全体で18.5%となり、そのうち寒冷地では20.0%、その他の地域では17.0%となりました（グラフ1）。具体的には、「エアコン暖房の効きが悪くなった」や「急に暖房運転が止まってしまった」などの声がありました（表1）。



具体的にどのようなトラブルに見舞われたか教えてください。(いくつでも)
「降雪時、エアコントラブルに見舞われたことがある」と回答した方に質問 (n=111)

1位 エアコン暖房の効きが悪くなった 61.3%

2位 急に暖房運転が止まってしまった 41.4%

3位 エアコン暖房がつかなかった 15.3%

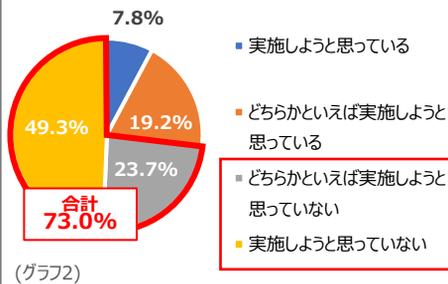
4位 室外機から湯気が出ていた 9.9%

5位 その他 2.7%

(表1)

また、エアコンに関する雪対策の意向については、地域問わず「実施しようと思っていない」「どちらかといえば実施しようと思っていない」と回答した方が全体で73.0%に上りました（グラフ2）。その理由として、寒冷地では「どのように対策したらいいかわからないから」が最も多く36.0%、その他の地域でも29.0%の方が同様の回答をしており（表2）、地域問わず4人に1人以上の方がエアコンに関する雪対策の仕方をわかっていないことが明らかになりました。

今年の冬本番に向けて、エアコンに関する雪対策を実施しようと思っていますか。(n=600)



今年の冬、エアコンに関する雪対策について、「実施しようと思っていない」「どちらかといえば実施しようと思っていない」理由を教えてください。(いくつでも) ※上位3つを抜粋して記載 (表2)

寒冷地 (n=200)		その他の地域 (n=238)		
1位	どのように対策したらいいかわからないから	36.0%	1位 過去に降雪によるトラブルを経験したことがなく、必要性を感じないから	52.5%
2位	過去に降雪によるトラブルを経験したことがなく、必要性を感じないから	29.0%	2位 どのように対策したらいいかわからないから	29.0%
3位	寒冷地向けの機種を使っており、特に追加で対策が必要だとは思わないから	21.5%	3位 対策をするのが面倒だから	17.2%

2 降雪時にエアコントラブルが起こる理由と、降雪前/降雪時の対策



エアコンのプロ

三菱電機株式会社 空調冷暖システム事業部 久田 優美 (ひさだ ゆみ)

入社以来、家庭用エアコンをはじめ業務用エアコンまで幅広く担当。その結果、外を歩けば自然と室外機が目に入る体質に。現在は、テレビやWEBメディアを通じて、エアコンに関するお役立ち情報を発信している。

降雪時にエアコントラブルが起こる理由としては、例えば以下が考えられます。

<エアコントラブルが起こる理由>

- ① “室外機”のファンが雪で埋まる
- ② “室外機”の上や周りに雪が積もっていると、風通しが悪くなったり、溶けた雪が凍って室外機の熱交換器に張り付いたりする

上記の状態になると、エアコン暖房は正常な運転ができなくなる可能性があり、結果として「効きが悪くなる」などのトラブルにつながります。そのような事態を避けるため、エアコン暖房の雪対策を行うことをおすすめします。特に「室外機周辺の対策」が一番重要です。

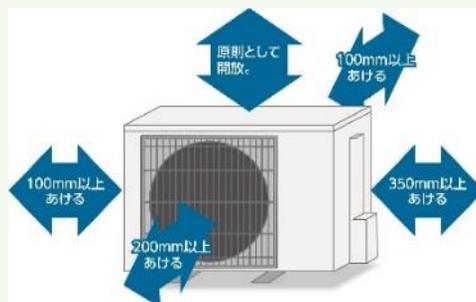
【降雪前の対策】ポイントは室外機！普段からやっておきたい環境整備

■ 雪対策につながる、普段からやっておきたい室外機周辺の環境整備

- 室外機周辺を掃除し、ファンの前や横に風を遮るものを置かないようにして、十分なスペースを確保しておく。

エアコン暖房を効率的に使うために、空気がスムーズに流れるように普段から室外機周辺のスペースを確保しておくことが重要です。ファンの前や横に観葉植物や段ボールなどの障害物を置いていると、風を遮り、室外機の正面に雪が積もってしまう可能性があります。室外機周辺の風通しを良くするために、動かせるものはできるだけ片づけて、上面にものを置くのもやめましょう。

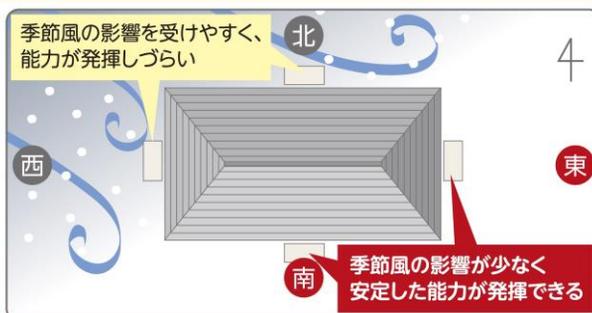
地域共通



■ 寒冷地ではさらに対策が必要！室外機設置時に気を付けたい3つのポイント

- 室外機の設置位置は家の東側か南側がおすすめ！

家の北側や西側は季節風の影響を受けやすく、冬場は雪が室外機に吹き込んでしまいます。そうすると、安定した稼働を実現できなくなる可能性があります。そのため室外機の設置場所は、家の東側か南側を選ぶのがおすすめです。



寒冷地

● ドレン水の排水に要注意！ 思わぬ事故につながる可能性も…

寒冷地では、室外機から排出されるドレン水※3で地面が凍結して思わぬ事故につながる可能性があります。室外機を設置する際には人の通る場所や地面が凍結すると問題のある場所は避けるようにしましょう。また、ドレン水は凍結により熱交換器の破損や、ファンと氷の接触などの不具合につながるおそれもあります。排水でお困りの時は、お買い上げの販売店に排水工事をご相談ください。



※3 ドレン水：室内機についた霜を溶かす「霜取り」を行った際に室外機から排出される水のこと（暖房運転時）。

● 別売部品の架台を使って雪害を回避！（必要に応じて防雪フードを活用ください）

△機種によって取り付け可否や適応する別売部品が異なりますので、詳しくは販売店にご相談ください。

地上に設置する場合

二段架台※4などを活用し、降雪とドレン水の凍結の影響がない高さに設置しましょう。

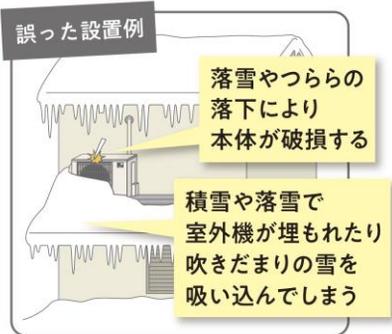
※4 寒冷地では、室外機の設置位置を高くするために二段架台を使用します。室外機の二段設置（下段への設置）は行わないでください。



寒冷地

上階や壁面に設置する場合

壁面用据付台などを活用し、降雪・落雪・つららなどの影響を受けにくい場所へ設置しましょう。また、ドレン水の排水にも注意してください。



バルコニーに設置する場合

一段架台などを活用し、降雪とドレン水凍結の影響がない高さで設置するのがおすすめです。



【降雪時の対策】大雪が降った後、まずやるべきことは？

地域共通

● 室外機の周辺に雪が積もっていたら…

エアコンの電源は入れず、シャベルなどで吹き出し口の前が200mm以上空くように雪を取り除く。

大雪が降った後は、まず室外機の状態を確認しましょう。雪が積もっているようであれば、周辺、特に吹き出し口前の雪を取り除くようにしてください。



● さらに、室外機の上に雪が積もっていたら…

積もった雪もできれば取り除く。ただし、室外機内部の雪には触らない。

室外機内部のフィン※5によって怪我をする恐れや、フィン自体を傷つけてしまう可能性があるため、室外機内部の雪には触らないようにしましょう。また、雪を溶かすためにお湯や水をかけると、かえって室外機の熱交換器に氷を発生させ、フィンの目詰まりの原因になることがあります。

※5 フィン：室外機の裏側についている薄い金属板



3 そのエアコントラブル、故障ではなく「霜取り」中かも？「霜取り」を知らない人が63.2%。寒冷地以外でも起こり得る“室外機についた霜”を解消する「霜取り」機能とは

Q. エアコン暖房が止まっちゃった！どうしたらいい？

A. 落ち着いて！室外機についた霜を溶かしているのかも。

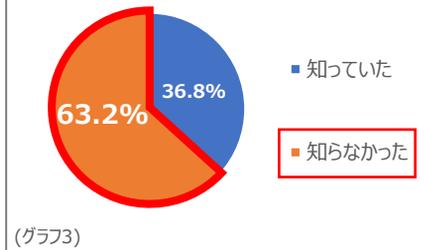
「霜取り」とは…

室外機の熱交換器に霜が付着すると、熱交換が十分に行われず暖房能力を発揮しにくくなるため、エアコンにはその霜を溶かすために、自動で「霜取り」を行う機能があります。

「霜取り」時には、霜を溶かすためにあたたかい冷媒を室外機側にまわすため、室内機から冷たい風が吹かないよう暖房運転を短時間停止します。そのため、「止まった！」とビックリされるかもしれません。しかしそれは「霜取り」を行っているためで、少し時間を置くと通常運転を再開しますので、焦らずお待ちください。

ちなみに、最近のエアコンは「霜取り」前に室温が設定温度を下回らないよう事前に室温を上げておく、「プレヒート」という機能が搭載されているものもあります。

エアコンには室外機についた霜を溶かすための「霜取り」機能がついているをご存知でしたか。
(n=600)



あたたかい冷媒を室外機側にまわし、熱交換器についた霜を溶かす



Q. 室外機から湯気が出ている！どうしたらいい？

A. 心配しないで！必ずしも故障ではありません。

今回ご紹介した、室外機の熱交換器についた霜を落とすために行う「霜取り」中は、熱交換器があたたかくなっているので溶けた霜の水分が蒸発して湯気となる場合があります。

Q. 寒冷地以外の場所では霜はつかないのでは？

A. 必ずしも寒冷地だけの話ではなく、全国で起こり得ることです。

室外機に霜が付きやすく、「霜取り」に入る外気温は-7～5.5℃の時です。

そのため、日本の場合はほぼ全国が対象となります。実際、2023年の東京では73日、大阪市では71日、福岡市では59日も外気温が-7～5.5℃となった日がありました※6。

※6 三菱電機調べ <https://www.MitsubishiElectric.co.jp/home/kirigamine/special/zubanatsu/>

ちなみに、三菱電機の「ズバ暖霧ヶ峰」は独自の技術により、「霜取り」中でも暖房運転が途切れず、室温が下がりにくいです！エアコンの買い替えをお考えの場合は、寒冷地以外の地域でも愛用されている、ズバ暖霧ヶ峰を検討してみてください。



三菱電機は暖房性能や省エネ性に優れたエアコン開発に取り組んでいます！

寒さの厳しい冬も、快適なあたたかさがつづく。ズバ暖霧ヶ峰！

<特長1> 独自技術により、「霜取り」中もあたたかさが途切れない

冬には「霜取り」により急にエアコン暖房が止まってしまうことも。ズバ暖霧ヶ峰なら独自の技術により「霜取り」中も暖房運転を続けるため、室温が下がりません（FD/ZDシリーズ）。

<特長2> 圧倒的な暖房能力

- (1) 外気温-15℃の環境下でも最高約60℃※7の温風吹出しを実現できます。
- (2) 約15分で室温を5℃から20℃※8まで引きあげることができます。



真冬でも圧倒的な暖房能力を実現できる秘密が、「大容量コンプレッサー※9」です。外気中にある熱エネルギーを集め、パワフルで大容量なコンプレッサーで圧縮し、高温・高圧にして熱エネルギーを室内に送ることで、真冬でもしっかり暖房運転ができます。容量は通常機種種の約1.6倍※10を誇ります。

※9 コンプレッサーとは：
圧縮機。室外機の中にあるエアコンの心臓部とも言える部品。冷媒ガスを圧縮し循環させるポンプのような役割を果たす。

※10 MSZ-VXV7125S・HXV7125SとMSZ-FZV7125S・ZXV7125Sの比較。



※7 MSZ-FD4025S。暖房時、当社環境試験室（14畳）において、外気温-15℃・室温20℃・設定温度20℃・風速「自動」（風量は標準定格暖房に対して約40%）・「ハイパワー」運転時の吹出し口付近の最高到達温度。「ハイパワー」運転は約15分間強制的に最大能力で運転し、約1時間たつと自動的に終了します。室温・外気温が低いときは60℃にならない場合があります。/MSZ-ZD4025S。暖房時、当社環境試験室（14畳）において、外気温-15℃・室温20℃・設定温度20℃・風速「自動」（風量は標準定格暖房に対して約50%）・「ハイパワー」運転時の吹出し口付近の最高到達温度。「ハイパワー」運転は約15分間強制的に最大能力で運転し、約1時間たつと自動的に終了します。室温・外気温が低いときは60℃にならない場合があります。MSZ-ZD2525・ZD2825Sは外気温2℃時。/MSZ-XD4025S。暖房時、当社環境試験室（14畳）において、外気温-15℃・室温20℃・設定温度20℃・風速「自動」（風量は標準定格暖房に対して約65%）・標準定格暖房で「ハイパワー」運転時の吹出し口付近の最高到達温度。「ハイパワー」運転は約15分間強制的に最大能力で運転し、約1時間たつと自動的に終了します。室温・外気温が低いときは60℃にならない場合があります。MSZ-XD2825Sは外気温2℃時。MSZ-XD2225・XD2525は外気温2℃時で最高約55℃。室温・外気温が低いときは55℃にならない場合があります。

※8 MSZ-FD4025S・ZD4025S。暖房時、当社環境試験室（14畳）において、外気温-10℃・外気湿度50%・運転開始時室温5℃で、設定温度30℃・風速「自動」設定時の平均室温実測値。住宅性能により、到達に時間がかかる場合や、平均室温にならない場合があります。

<特長3> 凍結防止ヒーターで、ドレン水凍結による暖房能力低下や運転停止を防ぐ

室外機内部に凍結防止ヒーターを標準搭載し、ドレン水凍結に伴う熱交換器の破損や、ファンと氷の接触などの不具合を防ぎます。

<ズバ暖について、さらに詳しく知りたい方はこちら>

<https://www.MitsubishiElectric.co.jp/home/kirigamine/special/zubadan/>

■三菱電機はお悩みを解消する情報を発信中。

三菱電機はエアコンにまつわるよくあるお悩みに耳を傾け、役立つ情報を発信しています。
<https://www.MitsubishiElectric.co.jp/home/kirigamine/special/oshiete/>

<快適に過ごすためのお役立ち情報一覧>

プロが教えるエアコンのセルフ清掃のコツと注意点

<https://www.MitsubishiElectric.co.jp/home/kirigamine/special/oshiete/pdf/231205.pdf>

節電と快適性を両立する効率的なエアコン暖房使用術をご紹介

https://www.MitsubishiElectric.co.jp/home/kirigamine/special/oshiete/pdf/230120_1.pdf

親子ともに快適に過ごせる室内環境を作るためのコミュニケーション方法とは

<https://www.MitsubishiElectric.co.jp/home/kirigamine/special/oshiete/pdf/221201.pdf>

■グラフ1～3、表1～2

調査対象者：30～50代の男女600名（沖縄県を除く46都道府県在住）

調査方法：インターネット

調査期間：2024年11/1(金)～11/5(火)

<本件に関するお問合せ先>

三菱電機 霧ヶ峰PR事務局(ピーアールコンビナート内)

担当/安田(070-3852-6591)、黒須(080-5896-5998)、喜井(070-4540-7072)・E-mail/kirigamine@prk.co.jp



教える！
霧ヶ峰

エアコンのお悩み
解決します。